

## 平成23年度第1回県立長野図書館協議会概要

1 日 時 平成23年9月22日(木) 9:30~12:00

2 場 所 県立長野図書館第1会議室

### 3 出席者

<委員(五十音順)> 楠直樹委員、小林いせ子委員、田中春海委員、玉城司委員、  
若林恵実子委員

<県立長野図書館> 寺沢館長、多城次長兼総務課長、東方企画協力課長、  
柳沢資料情報課長、関資料係長、柳沢情報係長、町田主幹、内山主幹、  
山本主任、北村主任

### 4 会議次第

(1) 開会

(2) 館長あいさつ

(3) 会議事項

ア 県立長野図書館の事業実施状況について

イ 意見交換

(4) 閉会

### 5 会議の概要

(1) 県立長野図書館の事業実施状況について  
事務局資料説明後、質疑応答および意見交換

<玉城委員>

市町村誌のデータベース化はどの程度まで進んでいるのか、また本文まで検索して見ることができなのか。

<事務局>

県誌と市誌はこの6月に全て終了し、今年度は町村誌に取り組んでいる。著作権などの問題もあり、見ていただけなのは目次まで。

<玉城委員>

予算の関係等もあると思うが、できれば内容までアーカイブ化して欲しい。また、失業者対策の事業にもなり得るのではないか。

<事務局>

専門業者が作業にあたることになるので、直接雇用に結びつくかは分からない。郷土資料のデータベース化については、今後も課題として取り組んでまいりたい。

<若林委員>

自己評価の概要で、図書館の利用目的について「教養と趣味」という回答が多くなっているが、その中でも必要とされているものは何か。また、10代の回答者が167人とあるが、利用状況では学習室に勉強に来ているという人数が非常に多いので、実際に図書の利用で来館しているのはこのうちの何人か。小中学生の利用状況は。

<事務局>

現在まだ回答項目を集計した段階、このアンケートをもとにこれから分析してまいりたい。また、今回中学生以上を対象としたアンケートのため、親子連れで児童室を利用する小学生以下の状況は数に現れていない。概要の利用状況からは、昨年度利用者総数228,810人のうち、勉強に使っている閲覧室の利用が47,467人と2割程度となっている。

<小林会長>

せっかくのアンケートを無駄にしないように、しっかりと分析し有意義に活用いただきたい。

<楠委員>

中学校でも学校自己評価を各校で行っており、指導の中心とすることを定めて、それに対しどうだったかを生徒や保護者にアンケートをとっている。今回のアンケートを受けて、例えば目的として「問題解決」の利用が低い、そこをどうするかに重点に置いて取り組みを行うなど、明確に焦点をしばったほうが良い。

祝日開館のうち月曜祝日の取扱いについては、開館して火曜日休館というような形になるのか、もうしばらく試行してみているのではないかと。

<事務局>

今回の資料にはないが来館者に尋ねたところ、大半は、長野市図書館が火曜休館のため、当館は月曜休館で固定の方が望ましいという意見であった。そういった希望も踏まえて、今後最終的な判断が教育委員会で行われる。

<楠委員>

概要によると児童図書の貸出が21年度から22年度で伸びているが、何か工夫をされた結果か。

<事務局>

コーラル文庫が21・22・23年度で1万2千冊配架予定であり、21年度において購入した5.7千冊を22年4月1日に配架公開した。その分伸びたと思われる。

予算的には県立図書館として優先的に専門図書を揃えており、新聞などに約45%がかかる状況で、大変厳しい。その中で青年の船で出してもらったコーラル文庫は大変有り難かった。今年度で終了するため今後の課題として予算要望して参りたい。

<小林会長>

相互貸借について、1年目は往復の郵送料を県が負担し、2年目の今年からは片道だけとなった経過は。負担が増えれば当然利用が滞ると懸念されるが、当初から制度として送

料は相互負担であったのか。

<事務局>

相互貸借は県によって、図書館の車両による配本や郵送・宅配当の利用など様々なやり方で実施されており、送料も都道府県で全額負担、全て受益者・利用者負担、相互で負担する場合がある。長野県では当初制度としては片道負担としたが、図書館間の相互協力を促進するため3年間は県が往復送料負担することで制度のスタートを切った。しかし県の予算も大変厳しいことから当初の姿に戻させていただいた。とはいえ、利用の拡大のために、今後の予算でも要求し努力して参りたい。

<田中委員>

児童室の利用について、5時までの開館時間は非常に短く大人が利用できる時間帯ではない。児童室＝子どもの利用と決め付けず、仕事帰りの利用しやすさを図るなど活用を広げて欲しい。

<事務局>

開館時間の延長は人件費の問題があり難しい。5時以降に児童の本を使いたい場合には、2階の一般図書室で申し出ていただければ職員が取りに行きカウンターでお渡しできる。ただ込み具合によってはお待ちいただく場合もある。開館時間へのご不満は充分承知しているが、人的体制は現状で精一杯であり、平日は2階図書室からご利用いただきたい。

<小林会長>

2階カウンターに利用の案内を表示するなど工夫して欲しい。

<玉城委員>

自己評価の満足度についての回答で、「わからない」が多いが、これは比較の対象がわからずサービスが適切なものか判断できないため。「わからない」という項目自体をアンケートの中で載せる必要がないのではと思うが、すると「どちらともいえない」が確実に膨らむので、「わからない」が多くなることを避けたいのであれば、例えば「近隣の図書館と比較して」といった一項目を入れることで具体的なイメージが湧くと思う。

実施された廃棄処分の内容、判断の根拠やリサイクルなどの活用状況についてお尋ねしたい。今回の大震災で蔵書を流失した図書館へいきなり送りつけても迷惑だとは思いますが、リストアップしておき活用を図るといったようなことができないか。大変手間はかかるが、今自分の大学の図書館でそれに取組んでいる。県レベルでももし可能ならばお願いをしたい。

<事務局>

全県の取組みとして、市町村図書館で必要なくなった本に関しては資料の保存のため県立図書館へ引き継ぐというシステムになっている。その整理の中で必要性の判断をしているが、不要と判断した本の抹消登録の手続きが滞っていたため、昨年度から処理を進めた。団体図書として公民館図書館へ貸出ししていた小説などの一般図書が大部分で傷みも相当ある。市町村や県機関での再利用の確認も行っている。古いもの、貴重なものは保存する

ことが当館の役割であり、そうした蔵書を捨てることはない。

<玉城委員>

地方の図書館で調査すると、和本など寄贈は受けても整理できず困っている状況がある。ここの関口文庫のようにマイクロ化して寄贈受けるシステムを利用できればいいが難しい。歴史家、ボランティアなどを活用してえり分けを行うなど提案したい。

私が福島県大槌町で図書館長から伺った話として、蔵書が5万冊流失して各地から3万冊送られてきたが整理にあたる人手がない。図書館の専門家がボランティアできてくれればうれしいがそれができない状況で本だけ贈られても、また捨てるような本を送られても困るとのことで、支援は慎重を期して行わないと却って迷惑になる。長野県単位で、県立図書館として機能できればと思う。

<事務局>

全国会議でも検討がされ、国会図書館は職員を派遣して支援を実施したが、被災状況が様々な中で、国会図書館などが全体的な希望を整理して各県の支援をコントロールする必要がある、必要な支援を必要な所にしていききたいと話合われた。

<田中委員>

県内で、どこかの図書館が被害にあった場合のバックアップの計画、体制については。

<事務局>

市町村教育委員会と県教委との調整によっては、対公民館の貸出と同様の体制はとれるが、図書館の災害対応についてはもう少し考えていかなければいけない。図書館協会公共部会などの場を活用して具体的な検討をしていきたい。

<玉城委員>

長野市立図書館の委員もしているが、駐車場が狭く苦情が多い。所謂クレーマーの人もいて対応が大変な状況。こちらの対応は？

<事務局>

苦情は多いがこれ以上駐車場を増やすことはできないので、基本的には車の利用をご遠慮いただくしかない。特に他の施設利用者による駐車など、1台ずつ声掛けしても効果はなく対応に苦慮している。新たに土地を買って整備するのは難しく、場内も目いっぱい線引きしてあり、事故も心配な状況。

<小林会長>

市立よりはまだ広いが、駅が近いので利用者の方には公共の乗り物を利用していただければと思う。

<楠>

来年度から国語の新指導要領で新聞の活用が増えるがどう集めればいいのか。

<事務局>

図書館に来館いただければ、マイクロフィルムやデータベース的には信毎アーカイブがあり、明治6年から昭和まで利用時間の制限はあるが無料で閲覧できる。一般的には情報の提供

にあたってどの新聞社も利用料金を設定しており、先のサービスは図書館での利用に限られる。

<小林会長>

指導要領が改定になり、国語の教科書の中に本の紹介が増えている。情報として活用し、親子で実物を見る機会を作って欲しい。

<事務局>

現在、読書感想文の課題図書のコナーは設置しており、子ども向けの読書案内として内容を広げていきたい。

<小林会長>

今、良い本ではなく単に面白い本に人気がある状況。「良い本」を図書館でPRし、心を育てる読書へ力を入れて欲しい。

長い時間検討いただき、大変沢山のご意見をいただいた。

以上で協議会を終了いたします。